

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	岡上こども文化センター	評価対象年度	平成22年度
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人川崎児童健全育成会 ココロ ・代表者名 理事長 八馬 英太郎 ・住所 川崎市宮前区野川4037-1エルホーム野川 1-207	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	1 岡上こども文化センター ①年間延べ利用者数 22,877人 ②年間延べ利用団体数 125団体 2 岡上小学校わくわくプラザ ①登録者数 138人 ②年間延べ利用者数 6,584人
収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 33,326,393 2 支出 人件費 27,495,599 管理費 3,646,441 事務経費 1,640,272 その他経費 525,315 合計 33,307,627 3 差引 18,766
サービス向上の取組	地域の大学と連携した小学校の流域学習授業の、鶴見川流域ネットワークの実施。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
	事業成果	こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか	5	5	5
わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか					
(評価の理由) 「おかつこサロン」や「岡上子育て安心広場」、地域の大学との連携した小学校の流域学習授業の「鶴見川流域ネットワーク」などの実施に当たりコーディネーターの役割を果たし、地域・行政と協力した事業を実施していた。こども文化センターの利用者が管理委託時(H17年度)と比較し、30%以上増加した。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出がなされているか(収支バランスが取れているか)	5	3	3
		支出に見合う効果が得られているか			
効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか					
(評価の理由) 金銭管理・会計手続についても適切に行われ、概ね提案どおりの経費執行であった。					
サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	3	3
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	5	3	3
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会が実施されているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会が実施されているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携が図られているか	10	4	8
利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	5	4	4	
	把握したニーズが事業運営へ反映されているか				
(評価の理由) 区役所でのチラシ配布により、乳幼児親子の利用者の増加につなげていた。和光大学との連携事業「鶴見川流域ネットワーク」や麻生区との連携行事「夏休み川遊び事業」、その他関係機関と協力し、事業の充実を図っていた。利用者ニーズについては、意見箱やアンケートを実施し、その結果を週に一度の常勤職員会議や月に一度の職員会議で検討し、事業運営へ反映させていた。					

組織管理体制	適正な人員配置	こども文化センターにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		わくわくプラザにおいて、利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか			
		事業の目的を考慮した適正な職員(児童福祉施設最低基準)が採用されているか			
	職員の研修体制	予定していた研修が実施されているか	5	4	4
職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか					
個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	5	3	3	
(評価の理由) 利用者の対応の強化のため、非常勤の専門アドバイザーを雇用し、館長を始めスタッフの指導を充実させていた。また、わくわくプラザにおいて大学講師を配置し、障害児対応に向けて、職員への実践的な指導を行っていた。更に、児童健全育成推進財団のほか多くの外部研修の機会を活用し、積極的に研修を実施していた。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保のための体制(マニュアル整備等)がとられているか	5	4	4
	事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか				
	防犯対策	緊急時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
		・施設の防犯のための工夫がされているか			
	災害時の対応	災害発生時のマニュアル等が整備されているか	5	3	3
避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか					
(評価の理由) 独自に、こども文化センターにAEDを設置し、引き続き利用者の安全確保に努めていた。3月11日の東日本大震災発生の際も利用者の安全第一の対応を行い、負傷者等を出さなかった。					

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

前年度に引き続きこども文化センターでの「おかつこサロン」や麻生区保健福祉センター・すぎのこ保育園との共催事業「岡上子育て安心広場」といった幼児やその保護者向けの事業、また近隣の大学と連携した事業など地域の特色を生かした事業を積極的に取り組んでいたことは評価できる。

今年度は特に3月11日の東日本大震災発生の際も利用者の安全第一の対応を行い、負傷者等を出さなかった。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センターの利用者が利用しやすい環境の整備に努め、児童が安全で安心して過ごせるわくわくプラザの運営に努めること。